



市議会議員 中野あきと事務所ニュース

☎ 591-7376
akito.n@m3.dion.ne.jp

市議会議員 中野あきと事務所ニュース

みどり清流

2003年2月発行 第15号

日本共産党 中野あきと事務所
日野市南平7-6-72 ☎599-3350
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しんぶん 赤旗

日刊紙 一か月 2900 円
日曜版 一か月 800 円

お申し込みは
南多摩事務所
☎582-0505
又は、中野事務所へ

生活・法律相談など
お気軽にお立ち寄り下さい

高幡 南平駅
中野あきと事務所

ヤマダデンキ

北野街道

平山小 平山台小

統廃合を考える集いで活発な意見交換

7月12日・中野あきと事務所主催

- ◇地元の問題と自治会の話し合いも必要では。
- ◇仮校舎に通う時間、安全の問題も検討すべきだ。
- ◇結局、強行されるのではという心配も出されている。
- ◇統合すれば市内で四番目のマンモス校になる。
- ◇単学級が問題というが、何で悪いのか。
- ◇統合されれば平山台の児童は、帰りはきつい登坂に。
- ◇児童数の予測は意図的。教育委員も説明会に参加を。
- ◇離れた平山小になれば、放課後の活動にも影響するでしよう」などの意見が時間いっぱい出されました。

【出された主な意見】「皆の顔がよく見えた」平山台小

意見交換では二年前に川崎から転入してきた方から「川崎では千二百名の超マンモス校。全校生徒が体育館に入り切らず、卒業生を送り出すのに在校生は五年生だけの出席。こちらでは小規模でみんなの顔もよく分かる。子どもも喜んでいて、単学級云々は納得できない。離れた平山小になれば、放課後の活動にも影響するでしよう」などの意見が時間いっぱい出されました。

◇統合による改築の場合、国からの補助金も多くなるよ
うだが、お金の問題と教育的問題を混同している。

◇児童数の予測は意図的。教育委員も説明会に参加を。

◇統合されれば平山台の児童は、帰りはきつい登坂に。

◇単学級が問題というが、何で悪いのか。

◇統合すれば市内で四番目のマンモス校になる。

◇結局、強行されるのではという心配も出されている。

◇仮校舎に通う時間、安全の問題も検討すべきだ。

◇地元の議員さんと自治会の話し合いも必要では。

いま、平山・南平地域で大きな関心が広がっている平山小と平山台小の統廃合問題。中野あきと事務所では地元の共産党後援会の協力も得て七月十二日、六月市議会の報告も兼ねて「統廃合を考える集い」を七生台地区センターで行ないました。

冒頭、中野あきと市議は六月議会でおこなった質問の裏付けにした資料をくわしく説明し、話題提供を行ないました。

また最後に中野市議は「いま市政でこれほど広範に住民の議論になっている問題はない、まちづくりの問題でも幼稚園の統廃合、学校図書館の問題でも市民のこれまでにない動きがみられる。住民の意向を無視したらどんなつげがくるのかをこれらの事例は示している。この問題は保護者、住民の意向で決めるべき問題。私たちはそれに役立つ情報を提供していきたい」と結びました。



西平山区画整理『何でも相談会』

半年ぶりに開催

6月29日の午後、地元の日本共産党後援会と中野あきと事務所主催の『西平山区画整理・なんでも相談会』が開かれました。一部仮換地が始まっているなか、今後の見通しはどうか、用途地域の変更でどのようなまちづくりが想定されているのかなど、さまざまな議論が行なわれました。また、それぞれの換地案への疑問や悩みも出され、どう考えたらいいか意見交換も行なわれました。

この相談会は24回を数えますが、今回は半年ぶりの開催でした。今後も道路や下水道、環境などまちづくりの問題から、換地案など個々に抱える悩みや疑問まで交流できたらと思います。ぜひ、お気軽にご参加を。

草の根から

区画整理なんでも相談会を半年ぶりに行ないました。参加者から「豊田南の区画整理について分析してほしい」「袋地の扱いが不当ではないか」「自分の換地がどうなっているのかよく分からない」などの質問や意見。やはり継続して開くことは大切だと実感▼小学校の統廃合問題で、保護者・住民のみなさんが市教育委員会と真剣な話し合いをすすめています。子どもや学校、教育への保護者の熱い意見に対して市教委の教科書的答弁には、子どもの姿が見えてきません。日野の教育や教育委員会のあり方について「保護者や住民の草の根の世論が問い直している」そう実感しました▼教育基本法の問題も、この草の根の声に改悪を許さない力が溢れているのでは。「主義主張ではなく、要求や願いを出発点に」。統廃合問題での保護者、住民の方たちに学ぶことがいっぱいです。

子どもの医療費無料化制度

なぜ所得制限の撤廃が必要か

中野あきと市議に聞く

6月市議会で日本共産党がくり返し提案してきた「子どもの医療費無料化制度」が、全会一致で可決されました。

この問題をめぐって「一定の所得制限は必要」という議論もあります。なぜ所得制限の撤廃が必要なのか。

中野あきと市議に聞きました。

少子化対策の重要な柱です

いま少子化が社会問題になっていく中で「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」が大きな課題となっています。

育児休業法の制定や待機児ゼロ作戦などの環境整備とともに、若い子育て世代の「悩み」の一つとなっている経済的負担の軽減問題にどう取り組むかが焦眉の問題です。

そうした点からさまざまな病気で病院にかかることが多い子どもの医療費の負担を、所得のあるなしにかかわらず軽減させることは必要なことです。

「サービスは公平に」が
地方自治法の大原則です

憲法25条の生存権規定にもとづき社会保障と税体系の考え方として「税金は所得に応じて」（応能負担）負担し、それを社会保障などで再配分する、というのが大原則となっています。

いっぽう、サービス・受益については平等でなければならぬというのが地方自治法の求める原則とされています。したがって、本来サービスの面まで格差をつけることは、分配における公正さを欠くもので、是正されなくてはなりません。



『しんぶん赤旗』 日刊紙七月十日号記事より

「このままでは戦争を知らない世代の政治家がゆけゆけとどんどん日本が戦争を起こす国になりかねない」

自民党で衆院当選七回の運輸相経験者が顔をゆがめました。東京・内幸町の日本プレスセンターでの政治記者たちの集まりでした。

○：イラク特措法案は紛れもない「戦時出兵」法案、現行憲法がまったく想定しない法律です。従来の自民党の安保・自衛隊政策の大枠からはみ出します。

河野洋平自民党元総裁は

六月開いた自派のパーティーで「イラクに軍事行動を開始するときには国連決議もなしに紛争をはじめた。当初言っていた核兵器も生物兵器も見つからない。そ

イラク特措法案を支持する無所属の元厚相は「イラク特措法案審議を聞いていると平和憲法はどこへいった」「むやみやたらと自衛隊を外へ出したがる人がある」（政壇誌六月号）

ときはさすがに安保条約というわけにはいきませんから特別措置法というのをつくらねばならぬ」といって自衛隊を外へ出したがる人がある（政壇誌六月号）

自民長老たちの危ぐ

ういうこともはつきりしない時期に、イラク新法をつくるんだとどうしてあんなに熱心なのか。小泉総理の存念を聞きたい。国の政策を間違っていないか」と語りました。

○：自民党のご意見番的な存在である後藤田正晴元副総理は「安保条約の適用範囲をいつのまにかアジア

と、なし崩し的で強引な出兵拡大に手厳しい批判を加えています。

元通産相は小泉政権の政治路線そのものへ疑問を向

ではインド洋に海上自衛隊がいつている。アフガンの

後藤田元副総理は「いま日本の政治はほんとうにほろっとおと危ないかも

ら、政治的（軍事的意味含む）な国づくりの方向へかじが切り変えられてきている。アメリカにいわれるままにだ。このままいくと日本はひどい目に遭うのは間違いない」

○：小泉首相の軍事突出路線にたいして自民党内の政治経験の長い政治家たちは、大きな危うさを感じ取っています。その声はしかし、つぶやきにとどまっています。

後藤田元副総理は「いま日本の政治はほんとうにほろっとおと危ないかも

しれませんね」「日本の内外ともに危険な時期に入ってきて、雰囲気は昭和一ケタの十五年戦争突入前夜の雰囲気」（同前出。自民党の大先輩の「警世の言」に耳を貸す賢明さを、いまの自民党は持ち合わせていないのでしょうか。「その時の雰囲気」（小泉首相）とめどない危険な海へ国民を引っ張り出すところにいる」。

イラク特措法案を阻む世論が一挙にひろがる余地はまだ残っています。最初から住民無視の計画はどこまでも問題だらけです。

短信

▼「私の今後の基本姿勢は共産党のいうことはまったくやらないことだ」と述べた石原知事。暴言撤回をせまられ「いい意見があったら採用します」と再答弁するも「今まで参考になったものは一つもない」と中傷。ならば問う。銀行税やデューセル規制、土地開発基金の活用などは、日本共産党のかねてからの提案ではなかったのか。反対意見や批判は許さないというに等しい態度、知事の品性と資格が問われます。▼南部地域の住民のための医療用地だった高幡地区広場。住民への事前の説明もなく藤和不動産に売却され高層マンションが建設されています。情報開示請求により公開された第一次コンペによれば、隣地境界はプロムナードとして「木と木の間にベンチを設け木もれ日の中で読書やおしゃべりをする空間」とあります。ところがブルムナードどころか実際は隣地境界ギリギリまで建物が迫っています。なぜ住環境破壊のプランにすり替わったのか。最初から住民無視の計画はどこまでも問題だらけです。